

## 令和4年度実施施策に係る事前分析表

(文R4-2-4)

|   |   |       |         |       |                         |                         |  |  |                |  |  |  |
|---|---|-------|---------|-------|-------------------------|-------------------------|--|--|----------------|--|--|--|
| 施策名   | 地域住民に開かれた信頼される学校づくり   |       |         |       | 部局名                     | 初等中等教育局財務課              |  | 作成責任者  | 村尾 崇           |  |  |  |
| 施策の概要   | 学校現場における業務改善等の取組を通じて、学校におけるマネジメント力の強化を図り、活力ある学校づくりや学校運営の改善に取り組む。また、「地域とともにある学校づくり」の視点も踏まえつつ、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく学校づくりを地域住民とともに促進する。これらの取組の実施を通じ、地域住民に信頼される質の高い学校教育を実現する。 |       |         |       |                         |                         |  | 政策評価<br>実施予定時期   | 令和5年度以降に<br>実施 |  |  |  |
| 施策の予算額<br>(当初予算)<br>(千円)  | 令和3年度   |       | 令和4年度   |       | 施策に関する内閣の<br>重要施策(主なもの) | 第3期教育振興基本計画 目標(6)、(16)等 |  |  |                |  |  |  |
|   | 262,147   |       | 361,093 |       |                         |                         |  |  |                |  |  |  |
| 達成目標1   | 学校現場における業務改善を推進するとともに、教職員定数の改善や適切な人事管理等を通じて、地域住民に信頼される質の高い学校教育を実現する。  |       |         |       |                         | 目標設定の<br>考え方・根拠         | 質の高い学校教育の実現のためには、それを担う質の高い教師を確保するとともに教師の負担軽減が必要であることから、第3期教育振興基本計画、新経済・財政再生計画 改革工程表2021を踏まえ設定。 |  |                |  |  |  |
| 測定指標  | 基準値   | 実績値   |         |       |                         |                         | 目標値  | 測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠  |                |  |  |  |
|   | R1年度  | H29年度 | H30年度   | R1年度  | R2年度                    | R3年度                    | R4年度   | <b>【測定指標及び目標値の設定根拠】</b><br>質の高い学校教育の実現のためには、それを担う質の高い教師の確保が重要であり、公立小中学校の教職員定数については、少子化の進展及び学校の規模適正化の動向、学校が抱える課題に関する客観的データ等に基づく中期見通し等を踏まえ、各都道府県・指定都市教育委員会が、中長期的視点に立った戦略的な計画を策定し、教員の安定的・計画的な採用・研修・配置を行うことにより、質の高い学校教育を実現することが求められるため。<br><b>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</b><br><br><b>【指標の根拠】</b><br>分母：都道府県・指定都市の合計数<br>分子：公立小中学校の教職員定数の中期見通しを踏まえた都道府県・政令市の方針策定計画を立てていると回答した自治体の都道府県・指定都市の合計数<br><br><b>【出典】</b> 文部科学省調べ |                |  |  |  |
| ①公立小中学校の<br>教職員定数の中期<br>見通しを踏まえた<br>都道府県・政令市<br>の方針策定計画割<br>合<br><b>【新経済・財政再<br/>生計画 改革工程<br/>表2021KPI】</b> | 50.7%   | —     | —       | 50.7% | 56.7%                   | 77.6%                   | 100.0%   |  |                |  |  |  |
|   | 年度ごとの<br>目標値  | —     | —       | —     | —                       | —                       |  |  |                |  |  |  |

| 測定指標   | 基準値   | 実績値  |  |  |  |  | 目標値   | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠   |
|--|---|--|--|--|--|--|---|---|
|  | H28年度                                       | H29年度  | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | R6年度  |   |
| ②所管する学校の業務改善の方針等を作成している都道府県・政令市・市区町村の割合【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】   | 都道府県<br>89.4%<br>政令市<br>50%<br>市区町村<br>6.6% | 都道府県<br>89.4%<br>政令市<br>55%<br>市区町村<br>10.9% | 都道府県<br>91.5%<br>政令市<br>85%<br>市区町村<br>20.8% | 都道府県<br>85.1%<br>政令市<br>80%<br>市区町村<br>37%   | 都道府県<br>97.9%<br>政令市<br>95%<br>市区町村<br>56.3% | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>95%<br>市区町村<br>61%    | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>100% | <p>【測定指標及び目標値の設定根拠】<br/>教育の質の向上のためには、学校における業務改善が必要不可欠であり、平成31年3月18日の文部科学事務次官通知にて、教育委員会に対し、所管の学校の業務改善に関して、時間外勤務の短縮に向けた業務改善方針・計画を策定するよう求めているため。<br/>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</p> <p>【指標の根拠】<br/>分母：全教育委員会数<br/>分子：所管する学校の業務改善の方針等を作成している教育委員会数</p> <p>【出典】<br/>教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査（文部科学省）（平成28年度から平成30年度）<br/>教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（令和元年度から）</p>   |
|  | 年度ごとの目標値                                    | —  | —  | —  | —  | —  |   |   |
| 測定指標   | 基準値   | 実績値  |  |  |  |  | 目標値   | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠   |
|  | H30年度                                       | H29年度  | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | R6年度  |   |
| ③所管する学校の業務改善状況を定量的に把握している都道府県・政令市・市区町村の割合【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】 | 都道府県<br>87.2%<br>政令市<br>55%<br>市区町村<br>47%  | —  | 都道府県<br>87.2%<br>政令市<br>55%<br>市区町村<br>47%   | 都道府県<br>72.3%<br>政令市<br>65%<br>市区町村<br>21.5% | 都道府県<br>83.0%<br>政令市<br>75%<br>市区町村<br>31.9% | 都道府県<br>87.2%<br>政令市<br>90%<br>市区町村<br>37.5% | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>70%  | <p>【測定指標及び目標値の設定根拠】<br/>教育の質の向上のためには、学校における業務改善が必要不可欠であり、平成31年3月18日の文部科学事務次官通知にて、教育委員会に対し、学校宛の業務量の削減に関する数値目標を決めるなど明確な業務改善目標を定め、業務改善の取組を促進し、定量的なフォローアップすることで、業務改善のPDCAサイクルを構築するよう求めているため。<br/>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</p> <p>【指標の根拠】<br/>分母：全教育委員会数<br/>分子：所管する学校の業務改善状況を定量的に把握している教育委員会数</p> <p>【出典】<br/>教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査（文部科学省）（平成28年度から平成30年度）<br/>教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（令和元年度から）<br/>（令和元年度調査の質問項目において、「定量的な」フォローアップを求めるように見直している。）</p> |
|  | 年度ごとの目標値                                    | —  | —  | —  | —  | —  |   |   |

| 測定指標  | 基準値      | 実績値   |       |      |      |      | 目標値  | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠  |
|---|----------|-------|-------|------|------|------|------|--|
|   | H30年度    | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R5年度 |  |
| ④学校の小規模化について対策の検討に着手している自治体の割合<br>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】 | 79%      | —     | 79%   | —    | —    | 100% | 100% | <p>【測定指標及び目標値の設定根拠】</p> <p>令和3年度に実施した調査によれば、77%の市区町村が学校規模について何らかの課題があると認識しており、そのうち課題の解消に向け適正規模・適正配置の検討に着手している市区町村は84%であった。</p> <p>加えて、小規模化についての対策として想定される課題の解消方策は、小規模校における教育環境の充実等に着手も含まれるため、こうした対応に着手した市区町村数も合わせると100%であった。今後も引き続き各自治体の取組を支援しつつ100%を目指していくため。</p> <p>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</p> <p>【指標の根拠】</p> <p>分母：学校規模について課題を認識している市町村数<br/>分子：課題解消に向けて検討に着手しているものと既に検討が終了しているものの合計市町村数</p> <p>【出典】学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査（文部科学省）（平成30年度、令和3年度）<br/>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で調査を実施せず。<br/>令和3年度は課題解消方策として、適正規模・適正配置とともに小規模校における教育環境の充実等に着手を含む。</p> |
|   | 年度ごとの目標値 | —     | 67%   | —    | —    | 100% |      |  |

| 測定指標  | 基準値      | 実績値                            |                                |      |   |   | 目標値   | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠  |
|---|----------|--------------------------------|--------------------------------|------|---|---|---|--|
|   | —        | H29年度                          | H30年度                          | R1年度 | R2年度  | R3年度  | 毎年度   |  |
| ⑤人事評価の結果を活用している都道府県・指定都市教育委員会数<br>i) 配置・転換<br>ii) 昇任<br>iii) 降任・免職<br>iv) 昇給・降給<br>v) 勤勉手当<br>(全体で67教委) | i)       | 21教委<br>(管理職)<br>25教委<br>(教諭等) | 20教委<br>(管理職)<br>24教委<br>(教諭等) | —    | —   | 調査中   | 前回調査以上                                      | 【測定指標及び目標値の設定根拠】<br>教職員の能力と業績を適正に評価し、評価結果が処遇上においても反映されるようにすることは、頑張る教職員を励まし応援していくとともに地域住民からの教職員全体への信頼性を高め、適切な人事管理を行うことで、質の高い学校教育の実現に資するものであるため。<br><br>【出典】公立学校教職員の人事行政状況調査（文部科学省）<br>令和元年度、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で調査を実施せず。令和3年度については現在調査中であり、本調査結果は例年、年内に公表している。  |
|   | ii)      | 39教委<br>(管理職)<br>39教委<br>(教諭等) | 39教委<br>(管理職)<br>39教委<br>(教諭等) | —    | —   | 調査中   |   |  |
|   | iii)     | 23教委<br>(管理職)<br>21教委<br>(教諭等) | 24教委<br>(管理職)<br>22教委<br>(教諭等) | —    | —   | 調査中   |   |  |
|   | iv)      | 52教委<br>(管理職)<br>44教委<br>(教諭等) | 58教委<br>(管理職)<br>55教委<br>(教諭等) | —    | —   | 調査中   |   |  |
|   | v)       | 55教委<br>(管理職)<br>45教委<br>(教諭等) | 57教委<br>(管理職)<br>53教委<br>(教諭等) | —    | —   | 調査中   |   |  |
|   | 年度ごとの目標値 | 前回調査以上                         | 前回調査以上                         | —    | —   | 前回調査以上  |   |  |
| 測定指標  | 基準値      | 実績値                            |                                |      |   |   | 目標値   | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠  |
|   | H30年度    | H29年度                          | H30年度                          | R1年度 | R2年度  | R3年度  | R6年度  |  |
| ⑥教師の業務負担を軽減するため、教員業務支援員をはじめとした支援スタッフの参画を図っている都道府県・政令市・市区町村の割合   | —        | —                              | —                              | —    | 都道府県<br>85.1%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>78.1% | 都道府県<br>85.1%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>81.3% | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>100% | 【測定指標及び目標値の設定根拠】<br>「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日閣議決定）や成長戦略フォローアップにおいて、支援スタッフの充実等を図るよう求められているため。<br>また、支援スタッフについては、その多くが地域人材を活用しており、支援スタッフが参画することで地域との連携にもつながる。<br><br>【指標の根拠】<br>分母：全教育委員会数<br>分子：教師の業務負担を軽減するため、教員業務支援員をはじめとした支援スタッフの参画を図っている教育委員会数<br><br>【出典】<br>教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（令和元年度から【関連調査項目は令和2年度から】） |
|   | 年度ごとの目標値 | —                              | —                              | —    | —   | —   |   |  |

| 測定指標   | 基準値  | 実績値   |  |   |  |  | 目標値    | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠  |
|--|--|-------|--|---|--|--|--------|--|
|  | H30年度  | H29年度 | H30年度  | R1年度  | R2年度   | R3年度   | R7年度   |  |
| ⑦学校事務の共同実施を実施している市町村の割合<br>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】                             | 64%  | 66%   | 64%  | 67%   | 68%  | 70%  | 75%    | <p>【測定指標及び目標値の設定根拠】</p> <p>平成29年の地教行法改正により「共同学校事務室」が制度化されたことも踏まえ、事務を共同処理することにより、OJTの実施による事務職員の育成及び資質の向上など、事務処理の更なる効率化及び質の向上が実現されることが期待され、これは事務職員の校務運営へのより主体的・積極的な参画に寄与するものであり、質の高い学校教育の実現に資するものであるため。</p> <p>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</p> <p>【指標の根拠】</p> <p>分母：全市区町村数<br/>分子：学校事務の共同実施について「既の実施した又は実施中」と回答した市区町村数</p> <p>【出典】</p> <p>教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査（平成28年度から平成30年度）<br/>教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（令和元年度から）</p> |
|  | 年度ごとの目標値                                       | —     | —  | —   | —  | 75%  |        |  |
| 測定指標   | 基準値  | 実績値   |  |   |  |  | 目標値    | 測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠  |
|  | H30年度  | H29年度 | H30年度  | R1年度  | R2年度   | R3年度   | 毎年度    |  |
| ⑧部活動について、部活動指導員をはじめとした外部人材の参画を図っている都道府県・政令市・市区町村の割合<br>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】 | 都道府県<br>95.7%<br>政令市<br>90.0%<br>市区町村<br>59.7% | —     | 都道府県<br>95.7%<br>政令市<br>90.0%<br>市区町村<br>59.7% | 都道府県<br>97.9%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>65.2% | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>64.3% | 都道府県<br>100%<br>政令市<br>100%<br>市区町村<br>68.9% | 前回調査以上 | <p>【測定指標及び目標値の設定根拠】</p> <p>部活動は、教師の長時間勤務の要因の一つであることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であったことから、部活動指導員について、部活動指導員をはじめとした外部人材が参画することが求められている。また、中央教育審議会や国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されており、地域の人々が指導者となることにより、地域との連携につながる。</p> <p>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、同KPIと同じ指標を測定指標として設定】</p> <p>【指標の根拠】</p> <p>分母：全教育委員会数<br/>分子：部活動指導員をはじめとした外部人材の参画を図っている教育委員会数</p> <p>【出典】</p> <p>教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（文部科学省）</p>   |
|  | 年度ごとの目標値                                       | —     | —  | —   | —  | —  |        |  |

| 達成手段<br>(開始年度)                                    | 関連する<br>指標                             | 行政事業レビュー<br>番号 | 備考 |
|---|--|----------------|----|
| 公立学校共済組合普及指導監査等<br>(昭和38年度)                       | ⑤                                      | 0097           | —  |
| 義務教育費国庫負担金及び標準法実施等<br>(昭和28年度)                    | ④                                      | 0098           | —  |
| 教育政策形成に関する実証研究<br>(平成28年度)                        | ①②③⑥                                   | 0099           | —  |
| 自律的、組織的な学校運営体制の構築<br>(学校における働き方改革推進事業)<br>(令和2年度) | ①②③④⑤⑥                                 | 0095           | —  |
| 昨年度事前分析表からの変更点                                    | それぞれの測定指標について実績を更新するとともに、目標年度の見直しを行った。 |                |    |